こびとのおうちえん Letter 10月号

平成30(2018)年10月1日発行　第94号

「安心」

9/3、えいしんが「おうちつくりたい」と言う。そして、さっそく竹を切っている。ヒモちょうだい。と言って、竹と竹をくくりつけている。どんなものをイメージしているのかはわからないけど、骨格からすると、そんなに大きいものではないみたい。苦戦しながらも熱中している。次の日からも、他に自分のやりたいことがあれば、それを選んで動き、作業する時は気もちまっすぐ。さわればこわれてしまいそうで、そうっと縁側に置く。時には全くやらない日もあるし、やっててものらない日も、もちろんあった。　そして9/20雨の日、えいしんは、軒下で最後の仕上げをしていた。「今日は、完成するかなあ。」と。そして何回かへやの中にいる私に声をかける。「よっこ〜」「だいぶできたよ〜」「あと、ちょっと〜」と言いながら、ずっとニコニコ。笑いが止まらない。ぼくに注目してほしい！というのとは全然ちがう。純粋に、もう少しで仕上がるのがうれしくてワクワクしてたまらないのだ。そしてついにお昼前に完成した。満足そうだ。　その小さなおうちに入ってみる！こわれない。しっかりできている。時間をかければかけるほど、その作りたい気もちを持続するのは難しい。でも、気もちが途切れることはなかった。私もうれしかった。

私は、作品づくりをする時や、何かが出来た時に、なるべく　すごいね！という言葉はかけないようにしている。（もちろん、すごい！と心から出てくる時もあるけど）　私が相手から感じるものと、自分のおもいの伝えたい実感は、「できてうれしいなあ!!」だ。そこを共有したい。

作品をつくることは表現だ。優劣をつけたり、出来ばえを競ったりするものではない。自分で作ることや描くことをする前に、つくってもらうことやかいてもらうことに慣れると、いざ自分でそこに挑もうとする時に自信を持てなくなる。オリジナリティがうすれる。それはとても残念だ。　小さな子が、大人が何を作ったかわからないようなものでも、自分のつくったものにうっとりしているのをみると私の心はいつも喜ぶ。これぞ、アート♡

自分のことを見てほしい。不安な子ほど、ほめられることを求める。だれかに勝たなければ、だれかよりよく出来なければ、自分に関心を持ってもらえないとでもいうように。　ほめられるのは、気もちがいい。でもそれが、目的となり手段となり、そのことで自分を満たそうとするのは、自分を生きているのとはちがう。　いつも誰かの価値のために生きることだ。　それは、つらい。（実は、真に満たされてもいない。）　おっとなんか筋がちがってきたぞ。

「安心」なのだ。と思った。えいしんが、ここで安心して自分でいるようになったなあと思った。　ここに来た最初の頃、えいしんは、自分が！自分が！というのが、今より強かった。　自分に注目してほしい。自分のことを認めてほしい。それをとても感じていた。　でも、いつからか、えいしんは、そんなことをする必要がなくなったのだな、と感じている。　ここが安心できる場になっているのだな　とうれしく思う。

宮野嘉子

やってきました。けいドロの季節。しかも、かなり本格的に楽しめるようにみんなも成長していってるのでした。夏前はルールもままならず、すぐおわっちゃってたけど…　今は沸とう中!!

ろくだい　つばめ　みと　てんこ　ともや　ひさと　ほのこ　ちさ　つむぎ

ろっくん、それにてらこやのメンバーも加わって、あ〜おもしろかった〜！　暑くてキツくてたおれそう。川に入って水をかぶる。ろっくんも、具合わるって思うほどだったらしい…。本気で走って楽しかった〜。りょうすけも最近よくけいドロに参加していっしょうけんめい走ってる！　あつおさんいわく、ともやがしぶい！いつも、いいポジションにあらわれるから！

10月のお母さんグループ

30日(火) 13:00〜15:00

場所　大野地区老人作業所

内容　フィーリンググループ
今の自分をじっくり味わってみましょう。

※参加される方は、ご連絡下さい。
当日でもOKです。

9月はこんなことしました

- 鼓ヶ浦であそぶ
- くりひろいさんぽ
- あぶくたったにえたった
- 大野八幡宮までさんぽ
- カレー作り
- 川プール(9/27終)
- うんどうかいごっこ
- ヤマゴボウの汁でおえかき、色水あそび
- 川の工事
- ゴルフ
- 馬島であそぶ
- けいドロ
- 山越えさんぽ
- 月見だんご作り
- 神護寺に鐘をつきに行く
- 動くグランピア作り
- 焚火で焼きナス

etc…

おたんじょうび　おめでとう!!

25日　はら　みとちゃん（5さい）

28日　たてばたけ　ちさちゃん（4さい）

10月のスタッフプラン

- いねかり
- 10日(水) おにぎりつくってピクニック
  うわさの神護寺へ行ってみようと思います。
  空の弁当箱・ハシを持たせてください。
  足に合うクツを着用でお願いします。
- 18日(木) おべんとうの日
  ※おべんとうの準備をおねがいします！

＿＿＿＿＿＿＿＿の様子をおしらせします。

朝、えんがわでタイコたたいてうたうろくだい。
即興で…
あんなことでもないてるよ〜
こんなことでもないてるよ〜
イヤになっちゃうよ〜
そういうわけではいかれない〜
よんでみたいこと　うたってる〜
ぼくらも〜　わすれな〜い
ピカピカつくっても〜　あそんでもいいし〜
きみのこころに〜
あえるときは〜
おおきくなっても〜
きみと〜　ぼくが〜
熱唱(9/4)

鼓ヶ浦。ひさとが高い岩にのぼってるのをみて、ともやもあとをついてのぼる。それをみたかおるが「ともや、そんなところは天国だよ！」(9/5)

みんなでキッチンの日。みとがサラダのドレッシングを味見して「ちょっと味見したんやけど、ちょっと味がうすいんじゃないかな。」う〜ん　みと母さ〜ん♡♡
片づけもてきぱき。外に出てひかるの片づけも自発的にちゃきちゃきうごいている。(9/21)

「とんぼとり、ひさとと対決する！」ってよっこが言ったら、ひさと「ひーちゃんは対決はイヤなんよ。とるのをたのしみたいの。」(9/3)

つばめといっぱいお話しながら、ゆっくり2人で大豆の選別をしながらすごした。いろいろきいていろいろこたえが返ってくる。つばめが素直なかんじがしてうれしい。近くなったかんじもした。(9/18)　それから、つばめとすごす時間が、少しずつふえてきた。ドロだんごつくったり、さんぽにいったり。（前はよく直前でフラれていた。）あらたかおるとさんぽした。どんどん進む2人。つばめが「もう帰ろう。」と言う。どうした？ってきいたら、「だってイノシシがおるかもしれんやん。」こわい？ってきいたら、「うん」このすなおさがうれしかったな。ちょっと変わった、と思った瞬間。でも…「まだいくよー」とかおる。(9/27)

「遠くへさんぽしたい」と大きい子たちをさそってひかるが出かける。日向平へおりずにずっと先まで進んで竹やぶを通りしらない道をたんけん。神護寺の看板を見つける。自由についていい鐘があるらしい。この日は引き返す。次の日、ほのこ　つむぎ　かんせい　えいしん　こうた　あらたで再挑戦。そして鐘をついてお昼までに帰ってきた!!　びっくり!!!　神護寺…かなり遠い。私も車でしか行ったことない…。そして9/27ひかる、もう1回行くと言う。それにのったのは、1度行ったえいしんと初のるい。これまでは、小さい子はことわってたひかる。るいの強い意志を感じて、（もちろんるいはそんなに遠くとはわかってないが）行けるとこまで行こう、となる。そして、お寺までついて帰ってきた。12:30ごろ到着。るいは、清々しいりんとした顔でかえってきた。たくましくなってゆくるい。変化が著しい。

川プール入って2人で休けい中のいっきろくだい。2人でお話してるのがきこえる。
がっこうは、ねるところ(いっき)
あったまるところ(ろくだい)
ジャンプするとこ(ろくだい)
自分で立つところ(いっき)
哲学…??!!　(9/7)

よっこの
ちょこっと
おうちえん
日きえ
〜日々の
あれこれ〜